

表 2-2-3(1) 令和4年度登録専門家(1)

I D	氏 名	現住所 (都道府 県)	勤務先名称	技術 特 ト	運 営 特 ト	専門分野						
						藻場	干 潟 浅 場	サ ン ゴ 礁	ヨ シ 帯	河 川 湖 沼	清 掃 活 動	教 育 学 習
1	渡辺 耕平	宮崎県	西日本オーシャンリサーチ	●		○		○				
2	安藤 亘	埼玉県	ECOS技術士事務所	●	●	○	○	○	○			○
3	吉田 司	兵庫県	(株)シャトー海洋調査	●	●	○	○					
4	岩瀬 文人	高知県	高知生物多様性ネットワーク	●		○		○				○
5	岩井 克巳	大阪府	日本ミクニヤ(株)	●	●	○	○			○	○	○
6	三部 碧	沖縄県	一般財団法人 沖縄県環境科学センター	●		○	○	○				
7	石川 竜子	東京都	海洋プランニング(株)	●		○						
8	田中 賢治	島根県	国土防災技術(株)	●		○						
9	吉田 稔	沖縄県	(有)海游	●		○	○	○				
10	田中 和弘	東京都	(株)水産環境	●	●	○	○			○		
11	犬束 ゆかり	長崎県	(有)丸徳水産	●		○						
12	反田 實	兵庫県	兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター	●		○	○					
13	鈴木 信也	神奈川県	(株)日本海洋生物研究所	●			○					
14	益原 寛文	福岡県	益原技術士事務所	●	●	○	○	○				
15	川畑 友和	鹿児島県	山川地区藻場保全会	●	●	○						○
16	藤田 孝康	神奈川県	日本ミクニヤ(株)	●		○	○					
17	齊藤 政幸	福岡県	(株)東京久栄	●			○					
18	中尾 博己	北海道	別海町ニシン種苗生産センター センター長	●		○	○					○
19	藤原 秀一	沖縄県	いであ株式会社国土環境研究所	●				○				
20	岡村 俊邦	北海道	NPO法人 近自然森づくり協会	●						○		
21	石田 和敬	福岡県	国際航業株式会社	●		○	○	○				
22	南里 海児	福岡県	(株)ベントス	●	●	○	○					
23	片山 貴之	岡山県	海洋建設(株)	●	●	○	○			○		
24	穴口 裕司	岡山県	海洋建設(株)	●		○	○					
25	青山 智	岡山県	海洋建設(株)	●		○	○					
26	芳我 幸雄	埼玉県		●		○	○			○		
27	太田 雅隆	千葉県		●	●	○	○					

表 2-2-3(2) 令和4年度登録専門家(2)

I D	氏 名	現住所 (都道府 県)	勤務先名称	技術 特 ト	運営 特 ト	専門分野						
						藻場	干潟 浅場	サン ゴ礁	ヨシ 帯	河川 湖沼	清掃 活動	教育 学習
28	菅 啓二	長崎県	長崎県島原振興局 建設部 道路第一課	●	●	○	○				○	
29	北野 慎容	宮城県	三洋テクノマリン(株) 東北支 社	●		○						
30	三富 龍一	神奈川県		●		○	○					○
31	中嶋 泰	東京都	オフィスMOBA	●	●	○						
32	山本 秀一	茨城県	(株)エコー	●				○				○
33	伊藤 陽	福岡県	(株)三洋コンサルタント	●		○	○					
34	細木 光夫	高知県	(有)エコシステム	●		○	○			○		
35	永田 昭廣	兵庫県	滄海生物環境サポート	●		○	○	○				
36	大浦 佳代	東京都	海と漁の体験研究所	●	●							○
37	椎名 弘	千葉県	海洋プランニング(株)	●		○						
38	中村 憲司	兵庫県	(株)シャトー海洋調査	●	●	○	○					
39	三橋 公夫	徳島県	ニタコンサルタント株式会社	●		○						
40	田所 悟	神奈川県	(有)自然環境調査	●		○	○	○				
41	佐藤 達也	三重県	ざっこClub	●		○	○			○		○
42	吉永 聡	広島県	(株)水土舎	●		○	○			○		○
43	酒井 章	山口県		●		○						○
44	秋本 泰	千葉県		●		○	○	○				
45	吉村 拓	長崎県	一般財団法人 磯根研究所	●	●	○						○
46	長田 智史	沖縄県	一般財団法人 沖縄県環境科 学センター	●		○	○	○				○
47	山川 紘	神奈川県	東京海洋大学 客員研究員	●		○	○					
48	木村 尚	神奈川県	NPO法人海辺つくり研究会	●	●	○	○					○
49	高山 優美	神奈川県	海藻おしば協会	●		○						○
50	蓑島 恵利	東京都	海藻おしば協会	●		○						○
51	白井 洋子	石川県	海藻おしば協会	●		○						○
52	矢作 裕子	東京都	海藻おしば協会	●		○						○
53	野田 三千代	静岡県	海藻おしば協会	●		○						○
54	山本 貴史	大阪府	海山川里株式会社 研究室	●		○	○	○				

表 2-2-3(3) 令和4年度登録専門家(3)

I D	氏 名	現住所 (都道府 県)	勤務先名称	技術 サポ ート	運営 サポ ート	専門分野						
						藻場	干 潟 浅 場	サ ン ゴ 礁	ヨ シ 帯	河 川 湖 沼	清 掃 活 動	教 育 学 習
55	高橋 清孝	宮城県	NPO法人 シナイモツゴ郷の 会	●						○		
56	吉澤 和具	群馬県	元 群馬県漁業協同組合連合 会専務理事	●						○		
57	浅枝 隆	埼玉県	埼玉大学名誉教授	●						○		○
58	林 紀男	千葉県	千葉県立中央博物館 主任上 席研究員	●						○		
59	川上貴史	神奈川県	(株)水土舎	●		○	○		○	○		○
60	桐生 透	長野県	元山梨県水産技術センター 特別研究員	●						○		
61	藤岡 康弘	滋賀県	元 滋賀県水産試験場	●						○		
62	崎長 威志	広島県	広島県内水面漁業協同組合 連合会 参与	●						○		
63	望岡典隆	福岡県	九州大学大学院 農学研究院 資源生物科学部門 水産増殖 学研究室 特任教授	●			○			○	○	
64	稲田 善和	福岡県	九州・水生生物研究所 所長	●						○		

## (2) サポート専門家による指導と参考資料の作成

活動組織へのサポート専門家の派遣は、以下の要領で実施した。

表 2-2-4 専門家派遣の種類と活動組織の選定方法

個別サポート	派遣要請のあった活動組織（現地指導、遠隔サポート）、地域協議会（研修会など）
ヒアリング	自己評価から任意に抽出した活動組織

個別サポートについては、要望を精査し、活動組織の技術的なレベルアップに寄与すると判断された場合に、適任の専門家を選出した上で現地に派遣した。

### ① 個別サポート

#### 1) サポート専門家による技術的指導

3月中旬までに要望に応じて指導した活動組織数は延べ 111 組織であり、すべての組織に対し、現地を訪問した個別指導を行った。111 組織のうち、86 組織に技術的なサポートを、24 組織に運営に関わる指導を、1 会場で研修会形式のサポートを行った。

現地の要望に基づき指導した活動組織と担当専門家を表 2-2-5 に、個別指導の内訳を図 2-2-2 に示した。技術面の指導のうち、藻場のモニタリング・保全活動に関する指導が最も多く、次いで運営に関する指導が多かった。

各サポート専門家は、指導実施後に所定の様式による報告書を作成し、海面の活動組織についてはJF全漁連に、内水面の活動組織については全内漁連にそれぞれ提出した。サポート専門家による個別サポート報告書を資料編5に収録した。

表 2-2-5 (1) 個別サポート実施活動組織 (1)

No.	訪問先 (道府県)	訪問先(活動組織名)	専門家氏名	訪問月日	種別	内容	形式
1	北海道	余別・海HUGくみたい	安藤 亘	10/6	技術	藻場	個別指導
2	青森県	小川原湖地区漁場保全の会	藤田 孝康	6/27	技術	干潟	個別指導
3				8/30	技術	干潟	個別指導
4	神奈川県	江ノ島・フィッシャーメンズ・プロジェクト	田中 和弘	5/7	技術	藻場	個別指導
5			田中 和弘・中嶋 泰	9/10	技術	藻場	個別指導
6			田中 和弘・中嶋 泰	12/21	技術	藻場	個別指導
7	新潟県	加茂湖活動組織	石川 竜子	7/20	技術	藻場	個別指導
8			石川 竜子	10/28	技術	藻場	個別指導
9			石川 竜子・田所 悟	11/11、12	技術	藻場	個別指導
10			石川 竜子・田所 悟	2/27	技術	藻場	個別指導
11	富山県	射水市豊かな海を愛する会	高山 優美	11/25	技術	藻場	個別指導
12	石川県	石崎里海保全会	片山 貴之	5/24	技術	藻場	個別指導
13			片山 貴之	9/14	技術	藻場	個別指導
14	福井県	おおい町大島地区の海を守る会	片山 貴之	5/30	技術	藻場	個別指導
15	愛知県	蒲郡市漁場環境保全協議会	佐藤 達也	10/18	技術	藻場	個別指導
16	三重県	甲賀地区景観環境保全会	南里 海児	1/13	技術	藻場	研修会
17	京都府	桂川を守る会	稲田 善和	10/30	技術	内水面	個別指導
18	広島県	大崎上島地域の海辺を守る会	安藤 亘	11/4	技術	藻場	個別指導
19	山口県	吉見藻場保全グループ	南里 海児	6/24	技術	藻場	個別指導
20	徳島県	牟岐の藻場を守る会	中嶋 泰・三橋 公夫	5/16	技術	藻場	個別指導
21			中嶋 泰・三橋 公夫・渡辺 耕平	10/28、29	技術	藻場	個別指導
22		日和佐藻場再生委員会	中嶋 泰・三橋 公夫	5/17	技術	藻場	個別指導
23			中嶋 泰・三橋 公夫	10/27	技術	藻場	個別指導
24		阿部の藻場を守る会	中嶋 泰・三橋 公夫	5/18	技術	サンゴ礁	個別指導
25			中嶋 泰・三橋 公夫	10/25	技術	藻場	個別指導
26		木岐藻場育成協議会	中嶋 泰・三橋 公夫	5/19	技術	藻場	個別指導
27			中嶋 泰・三橋 公夫	10/26	技術	藻場	個別指導
28		竹ヶ島海中公園のエダミドリイシサンゴを守る会	岩瀬 文人	11/8	技術	藻場	個別指導
29	福岡県	脇田藻場保全部会	南里 海児	6/25	技術	藻場	個別指導
30		脇の浦磯資源保全部会	南里 海児	6/25	技術	藻場	個別指導
31		藍島藻場保全部会	南里 海児	6/28	技術	藻場	個別指導
32		馬島活動組織	南里 海児	6/28	技術	藻場	個別指導
33	佐賀県	鎮西地区藻場保全活動の会	川畑 友和	5/24	技術	藻場	個別指導
34	長崎県	瀬川地区海渚を再生する会	中嶋 泰・渡辺 耕平	5/7	技術	藻場	個別指導
35			菅 啓二	8/23	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
36			中嶋 泰・渡辺 耕平	10/2	技術	藻場	個別指導
37		大瀬戸地区藻場育成会	中嶋 泰・渡辺 耕平	5/8	技術	藻場	個別指導
38			菅 啓二	8/23	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
39			中嶋 泰・渡辺 耕平	10/1	技術	藻場	個別指導
40		高浜地区藻場保全活動組織	南里 海児	5/16	技術	藻場	個別指導
41		東海地区藻場保全組織	南里 海児	5/17	技術	藻場	個別指導
42			菅 啓二	6/1	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
43				9/15	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
44		大浜地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	5/27	技術	藻場	個別指導
45				10/18	技術	藻場	個別指導
46		崎山地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	5/28	技術	藻場	個別指導
47				10/17	技術	藻場	個別指導
48		岐宿地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	5/29	技術	藻場	個別指導
49				10/15	技術	藻場	個別指導
50		玉之浦地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	5/30	技術	藻場	個別指導
51				10/16	技術	藻場	個別指導

表 2-2-5 (2) 個別サポート実施活動組織 (2)

No.	訪問先 (道府県)	訪問先(活動組織名)	専門家氏名	訪問月日	種別	内容	形式
52	長崎県	奈留地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	5/31	技術	藻場	個別指導
53				10/14	技術	藻場	個別指導
54		塩浜地区藻場保全組織	菅 啓二	5/30	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
55				中嶋 泰・渡辺 耕平	6/29	技術	藻場
56		11/1	技術		藻場	個別指導	
57		大船越いそやけ対策活動組織	菅 啓二	5/31	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
58				7/27	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
59		西彼南部地区活動組織	南里 海児	6/4	技術	藻場	個別指導
60				中嶋 泰・渡辺 耕平	6/7、8	技術	藻場
61		外海地区活動組織	安藤 亘・南里 海児	6/5	技術	藻場	個別指導
62				11/6	技術	藻場	個別指導
63				3/13	技術	藻場	個別指導
64				6/10	技術	藻場	個別指導
65		橋湾地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	9/28	技術	藻場	個別指導
66				6/11	技術	藻場	個別指導
67		深堀地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	6/12	技術	藻場	個別指導
68				9/29	技術	藻場	個別指導
69		琴海地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	6/13	技術	藻場	個別指導
70		福田地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	6/14	技術	藻場	個別指導
71				9/30	技術	藻場	個別指導
72				6/23	技術	藻場	個別指導
73		泉地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	6/26	技術	藻場	個別指導
74				菅 啓二	9/14	運営	書類作成 方法の指導
75		鰐浦地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	6/27	技術	藻場	個別指導
76				菅 啓二	9/14	運営	書類作成 方法の指導
77		河内地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	6/28	技術	藻場	個別指導
78				菅 啓二	9/14	運営	書類作成 方法の指導
79		三浦湾地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	6/30	技術	藻場	個別指導
80				菅 啓二	9/15	運営	書類作成 方法の指導
81		水崎地区藻場保全組織組織	南里 海児	7/1	技術	藻場	個別指導
82		豊地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	7/1	技術	藻場	個別指導
83		鹿見地区活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	7/2	技術	藻場	個別指導
84		大村湾地域漁業環境保全会	菅 啓二	7/7	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
85		佐世保市浅子地区活動組織	菅 啓二	7/21	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
86		館浦藻場再生協議会	菅 啓二	7/22	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
87				安藤 亘・南里 海児	8/20	技術	藻場
88		古田藻場再生組合	菅 啓二	7/22	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
89		前津吉藻場再生組合	菅 啓二	7/22	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
90		大島地区藻場を守る会	菅 啓二	8/23	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
91		勝本地区活動組織	菅 啓二	9/1	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
92		郷ノ浦地区活動組織 郷ノ浦地区藻場保全組織	菅 啓二	9/1	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
93		箱崎地区活動組織	菅 啓二	9/2	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
94		壱岐東部地区活動組織	菅 啓二	9/2	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
95		石田地区活動組織	菅 啓二	9/2	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
96		大村湾東部東浦活動組織	菅 啓二	10/14	運営	書類作成 方法の指導	個別指導
97		網島地区藻場保全組織 塩浜地区藻場保全組織	菅 啓二	9/13	運営	書類作成 方法の指導	個別指導

表 2-2-5 (3) 個別サポート実施活動組織 (3)

No.	訪問先 (道府県)	訪問先(活動組織名)	専門家氏名	訪問月日	種別	内容	形式	
98	大分県	名護屋地区藻場保全活動組織	中嶋 泰・渡辺 耕平	8/4	技術	藻場	個別指導	
99				10/5~7	技術	藻場	個別指導	
100	鹿児島県	あいら藻場・干潟再生協議会	安藤 亘・渡辺 耕平	4/18	技術	藻場	個別指導	
101				11/23	技術	藻場	個別指導	
102		高尾野川をきれいにする会	望岡典隆	7/24	技術	内水面	個別指導	
103				稲田 善和	7/27	技術	内水面	個別指導
104				吉永 聡	10/13	技術	内水面	個別指導
105				吉永 聡	2/23	技術	内水面	個別指導
106		日置市多面的環境保全協議会	川畑 友和	5/19	技術	藻場	個別指導	
107	酒井 章			10/13、14	技術	藻場	個別指導	
108	沖縄県	大宜味村環境・生態系保全組織	長田 智史・三部 碧	6/28	技術	藻場	個別指導	
109				伊江島の会	永田 昭廣・石田 和敬・田所 悟	7/20~22	技術	サンゴ礁
110		石田 和敬	7/26、27		技術	サンゴ礁	個別指導	
111		永田 昭廣・石田 和敬	1/6、7	技術	藻場・サンゴ礁	個別指導		

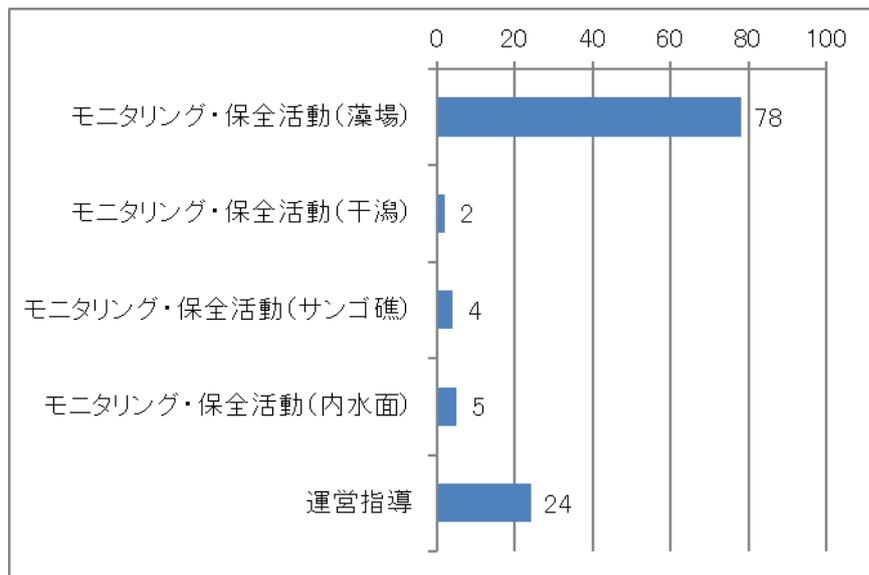


図 2-2-2 個別指導の内訳

## 2) 長期個別サポート

個別サポートを受けたことがない活動組織に、その効果を周知するための資料を作成することを目的として、長期個別サポートの実施を開始した。期間は令和4年度から令和7年度を予定している。対象となる活動組織は、自己評価表の結果から目標達成に苦慮していると考えられ、これまでにサポーターの指導を受けたことがない組織の中から1組織を選定した。年度途中からサポートを開始したため、今年度は構成員への活動状況のヒアリングおよび活動を実施する海域の現況調査を実施した。選定した活動組織を表 2-2-6 に示し、今年度の報告書を資料編 5 に収録した。

表 2-2-6 長期個別サポートの対象となった活動組織

県	活動組織名	担当者	活動項目
神奈川県	諸磯藻場保全活動組織	田所 悟	藻場

### 3) 個別サポート実施状況報告

サポート専門家 3 名が、自身が個別サポートを行った活動組織のうち、水産庁から指定を受けたものについて個別サポート報告書を基に実施状況の報告を行った。指定された活動組織を表 2-2-6 に示す。

表 2-2-7 実施状況の報告を行った活動組織

No.	県	活動組織名	担当者	活動項目
1	新潟県	加茂湖活動組織	石川 竜子	藻場
2	三重県	甲賀地区景観環境保全会	南里 海児	藻場
3	沖縄県	伊江島海の会	石田 和敬	藻場

## ② ヒアリング

今年度は令和 3 年度の自己評価の点数が 2 点未満で、成果目標の達成に苦慮していると考えられる活動組織を選出し、サポート専門家を派遣した。選出した活動組織を表 2-2-6 に示し、サポート専門家による個別サポート報告書を資料編 7 に収録した。

表 2-2-8 成果目標（2 点未満）から抽出した活動組織

No.	道府県	活動組織名	担当者	活動項目
1	高知県	興津藻場保全会	岩瀬 文人	藻場
2	茨城県	久慈川多面的機能活動組織	川上 貴史	内水面
3	新潟県	三面川環境保全の会	吉澤 和具	内水面
4	滋賀県	クリア森山	藤岡 康弘	干潟、ヨシ帯、漂流・漂着
5	滋賀県	西浅井水辺保全会	藤岡 康弘	干潟、ヨシ帯
6	福岡県	柏原地区保全活動組織	益原 寛文	藻場、海の監視ネットワーク強化

## 2-3. 保全手法等の開発と普及

漁業者等が取り組めるより効果的な保全手法等の開発と普及を行う。本年度は、以下に示す保全手法等の開発と普及を行った。

### (1) 活動を記録できるタブレット・スマホアプリの開発・普及（継続）

令和 3 年度では、地図を見ながら位置情報をマーキングできる機能の追加と提出帳票の自動作成マクロを開発し、より使いやすいアプリに改良した。令和 4 年度は、利用者から要望のあった作動中に当該年度の活動実施回数を表示できる機能の追加のほか、協定エリア（活動範囲）の設定・表示機能等の改良を行った。

また、これまでホームページでアプリを紹介するだけだったので、令和 4 年度は地域協議会の担当者に対してチラシ等で紹介するとともに、本事業の講習会や地域協議会が主催する報告会等にも参加して普及に努めた。

### (2) ウニ駆除装置の開発・普及（継続）

令和2年度より、磯焼け域のウニ除去対策として、空気ポンベの空気を内部に挿入し、殻を砕くウニ駆除装置（通称「ウニバスター」）を開発した。令和3年度は、活動組織に当該駆除装置を貸し出し、普及を図ると共に、使用後のアンケートから、ウニの種類に応じて空気量を調整出来るように改良を行った。令和4年度は、活動組織への貸出と普及、改良の実証実験を行った。

### (3) サンゴ保全手法の開発（継続）

水産庁の別事業で有性生殖法を用いたサンゴ増殖（種苗生産および中間育成）の技術開発が行われている。この技術は、公共事業を想定した大規模な種苗生産および中間育成が目的であるため、コストが高く、高度な技術力が必要である。このため、本事業の活動組織では、人員と予算不足で容易に扱えない技術となっている。このため、令和3年度に、この技術の工程を整理し、クリティカルな作業工程は残しつつ、一部が簡易な手法となっても一定以上のサンゴの生残率が確保できる「小規模型の有性生殖法を用いたサンゴ増殖手法の開発」を試み、技術面での課題を明らかとした。令和4年度も引き続き、これらの課題を解決し、活動組織でも実施可能な技術の開発を行った。

## 2-4. 水産多面的機能発揮対策事業の情報提供・共有

### (1) 模範、参考となる活動組織（優良事例）の抽出

表 2-4-1 に示す 20 地区の優良事例を選定し、聞き取り調査等によって実践する保全活動や連携等における内容や特徴を把握し、他の活動組織の模範・参考となる資料を作成した

なお、活動組織は、原則、以下の基準によって抽出した。また、抽出にあたっては、地域的な偏りや重複がないよう、かつ過去 3 年間に抽出されていない組織となるよう配慮した。

- ・対象生物の増加、不審船または環境異変等の早期通報件数の増加等（技術等分野）：  
15 組織
- ・非営利団体や企業等との連携、国民の理解増進等（連携等分野）：5 組織

表 2-4-1 選定した模範、参考となる活動組織の一覧

(技術等分野)

	県	活動組織名	主な活動内容
1.	北海道	三石昆布組合	藻場の保全

2.	北海道	北斗市アサリ漁場環境保全活動組織	干潟等の保全
3.	秋田県	湯沢市河川愛護会	内水面生態系等の保全
4.	神奈川県	葉山アマモ協議会	藻場の保全
5.	福井県	敦賀河川を守る会	内水面生態系等の保全
6.	愛知県	美浜町漁場環境保全会	干潟等の保全
7.	三重県	石鏡（いじか）地区藻場保全活動組織	藻場の保全
8.	滋賀県	野洲市びわ湖を守る会	ヨシ帯の保全
9.	兵庫県	由良地区豊かな海づくり活動組織	干潟等の保全
10.	鳥取県	網代港地区海洋環境保全対策活動組織	藻場の保全
11.	山口県	越ヶ浜藻場保全グループ	藻場の保全
12.	高知県	鏡川環境保全の会	内水面生態系等の保全
13.	高知県	みんなの海を育てる会	サンゴの保全
14.	長崎県	瀬川地区海渚を再生する会	藻場の保全
15.	長崎県	勝本地区活動組織	水域監視

(連携等分野)

	県	活動組織名	主な活動内容
1.	静岡県	北限域（内浦湾）の造礁サンゴ群落保全会	サンゴの保全
2.	愛知県	名倉川環境保全ネットワーク	内水面生態系等の保全
3.	高知県	窪津藻場保全対策協議会	藻場の保全
4.	高知県	上ノ加江漁村文化伝承活動組織	藻場の保全
5.	大分県	名護屋地区藻場保全活動組織	藻場の保全

## (2) 事例集の作成・配布

前述の表 2-4-1 に示した優良事例（20 事例）について、活動の要点を事例集として整理し、全国の地域協議会及び活動組織に配布した。なお、作成・配布した資料は、別冊 4 を参照されたい。

## (3) 事例報告会の開催

### 1) 参加対象及び広報

水産多面的機能発揮対策に取り組む全国の活動組織の技術的水準の向上を図るとともに、本事業を広く国民に周知することを目的とした事例報告会（シンポジウム）を表 2-4-2 に示す会場、日程で開催した。

参加対象は以下のとおりとし、ポスター（図 2-4-1）を作成して地域協議会を通じて各活動組織に周知し、東京都を中心とした大学や教育委員会等の機関に案内状を送付し、周知を図った。

#### <参加対象>

- ・水産多面的機能発揮対策に参加する活動組織とその構成員
- ・関係都道府県、市町村及び地域協議会の事業担当者
- ・市民活動や環境問題等に興味のある学生（高校生・専門学校生・大学生）
- ・教育関係者（小・中学校、高等学校等）
- ・水産多面的機能発揮対策に興味のある個人、団体、企業等（一般）

<開催を通知した教育機関等>

- ・生物学系学部を有する首都圏大学・短期大学、専修学校
- ・全国の水産高等学校
- ・都内の専修学校
- ・東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県各市町村教育委員会

表 2-4-2 事例報告会の会場・日程

会場	東京大学大講堂（東京都文京区本郷7-3-1）
日程	2023年2月11日（土）10：00～15：40（9：00 開場）
定員	約500名

## 2) 開催内容

事例報告を行う活動組織は、優良事例地区から抽出した活動組織とした。表 2-4-3 に口頭発表のプログラムを、表 2-4-4 にポスター発表（展示のみ）を行う活動組織を示した。

今報告会では、会場での発表と並行して YouTube での同時配信を行い、来場せずとも視聴できる体制を整えた。ウェブでの参加者には、チャット機能により発表者等に質問できるようにした。

なお、上記の優良 20 事例（表 2-4-1）について、シンポジウム会場に展示するポスターを作成し、テキストに収録した。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・講習会同様、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催する。</li><li>・人の密度を低くするため、会場の定員を半数（500 名）上限として案内した。</li><li>・その他、会場のガイドラインに準じ、会場参加者の三密を回避した席割りの徹底や消毒、換気等に配慮して開催する。</li></ul> |
|--|